

平成 25 年度（ 3 ） 区 小中高算数・数学研究会 実施報告書

学校名	長野高等学校
-----	--------

実施日	平成 25 年 9 月 19 日（木）
-----	---------------------

1. 公開（研究）授業

学年	単 元	授 業 者
1 学年 2 学年	図形の性質 空間ベクトル	小澤 健二、横山 智典 縣 正樹

2. 授業研究会について

参加者数	17 名
------	------

話し合われた内容	<p>(1) 授業を参観しての感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進度の速さに驚いた（中、高）。予習を前提とした授業に納得できた。生徒との間に阿吽の呼吸が感じられた（中、高）。 <p>(2) 授業で工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力幅の広い生徒の実態（中、高）。 ・ 点数の低い生徒の方が実験等でグラフをかかせたりする場合、能力を發揮することもある（中）。 ・ 土曜日の使い方について。本校土曜セミナーの説明。（高） ・ 図形の指導において、フリーハンドと定規利用の長所、短所（中、高）。 <p>(3) 高校入試について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間が限られた中では如何かと思うが、記述式にしたらどうなのか（中）。 ・ 思考を問う問題はいいと思うが、入試問題としてはどうかと思う（高）。 ・ 数学はしっかり勉強する必要があるという生徒の意識は強い（高）。
----------	--

3. 算数・数学における課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高連携に関する現場の交流がない。多忙によりとりにくい。 ・ 高校入試問題のありかた。 ・ 学力差によらない数学的思考力をつけるためには。

4. 来年度について

(1) 研究会の担当校（決まっている場合）

未定

(2) 研究会の実施方法等について、検討や改善が必要なこと

<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加校（数）が極端に少ない。 ・ 本研究会の開催方法について検討を要する。
--